

町田市新たな学校づくり推進計画（一部修正）について
～環境変化に適合した、未来へ向けた改善～

1 主旨

児童・生徒数の予想を上回る減少や学校施設整備費の高騰といった環境変化の中で、適正規模・適正配置と教育環境の整備を着実に推進していくため、2021 年 5 月に策定した「町田市新たな学校づくり推進計画」（以下「推進計画」という。）の一部修正を行うものです。

一部修正は、推進計画で示している新たな学校づくりの基本的な考え方は変えずに、直近の児童・生徒推計に則した地区の優先順位付けや学区の変更により、取り組みを環境変化に適合するよう改善するものです。

2 計画変更の背景

（1）児童・生徒数の急激な減少

- ・2024 年度に行った児童・生徒数推計では、推進計画策定時に行った 2020 年度の児童・生徒数推計より、減少のスピードが速まっています。

＜表 1＞ 町田市立小学校の児童・学級数

		2020 年 (実績値)	2030 年 (推計値)	2040 年 (推計値)	2020 年と 2040 年の比較
児童数	2020 年度推計	20,986 人	16,285 人	14,994 人	▲5,992 人 (▲28.6%)
	2024 年度推計		15,770 人	13,955 人	▲7,031 人 (▲33.5%)
	差		▲515 人	▲1,039 人	
学級数	2020 年度推計	674 学級	594 学級	558 学級	▲116 学級
	2024 年度推計		569 学級	525 学級	▲149 学級
	差		▲25 学級	▲33 学級	

＜表 2＞ 町田市立中学校の生徒・学級数

		2020 年 (実績値)	2030 年 (推計値)	2040 年 (推計値)	2020 年と 2040 年の比較
生徒数	2020 年度推計	10,071 人	8,344 人	6,841 人	▲3,230 人 (▲32.1%)
	2024 年度推計		8,300 人	6,549 人	▲3,522 人 (▲35.0%)
	差		▲44 人	▲292 人	
学級数	2020 年度推計	289 学級	249 学級	209 学級	▲80 学級
	2024 年度推計		244 学級	206 学級	▲83 学級
	差		▲5 学級	▲3 学級	

（2020 年度推計は 2020 年 4 月 1 日時点の住民基本台帳を利用）

（2024 年度推計は 2024 年 4 月 1 日時点の住民基本台帳を利用）

（2）単学級化・小規模化の進展

- ・単学級化している小学校は、2024 年度の 2 校（小山田小学校、大戸小学校）から、2030 年度には 6 校（つくし野小学校、高ヶ坂小学校、成瀬中央小学校、小山田小学校、山崎小学校、大戸小学校）となる見込みです。
- ・9 学級未満の中学校は、2024 年度の 2 校（真光寺中学校、武蔵岡中学校）から、2030 年度には 5 校（薬師中学校、真光寺中学校、山崎中学校、木曽中学校、武蔵岡中学校）となる見込みです。

(3) 校舎整備費の高騰等

- ・資材等の物価高や人件費の上昇等の影響を受け、2021 年度から 2055 年度までに学校統合による学校施設の建替え・改修にかかる費用は、これまでの約 2540 億円から、2025 年度単価による試算では約 4540 億円へと大幅に増額する結果となりました。
- ・また、建設等にかかる期間については、建設業の労働時間の規制強化による工期の延長から、これまでは原則 3 年であったものが、原則 4 年必要であると整理しました。

3 計画変更の方針

(1) 基本的な考え方

- ・今後、児童・生徒数の減少が予測を上回るスピードで進み、かつ施設整備費が高騰する中で、適正規模・適正配置を推進していくためには、地区ごとの学校統合及び校舎の建替え・改修計画の優先度を明確にすることと、地区によっては、学区の変更により適正規模を維持することが必要です。

(2) 優先度を定める上での指針

- ・2030 年度までに単学級化・小規模化する学校の統合及び統合新設校の建替え・改修を最優先とし、以下の指針により優先順位付けを行います。

＜優先順位を決定する上での指針＞

- 2030 年度までに、小学校であれば 12 学級未満、中学校であれば 9 学級未満となる学校の統合及び統合に伴う建替え及び改修を優先し、それ以外の学校統合を予定している地区及び統合を伴わない建替校（単独建替校）の計画は延期する。
- 2030 年度までに、単学級化する学校であっても、隣接校との学区変更により、当面上記の基準以上となる学校については、学校統合時期を延期する。
- 単学級化しないまでも、2030 年度の時点で統合対象校双方が小規模化し、今後も児童・生徒数が減少していくことが見込まれる地域を優先する。
- 単独建替校の計画については原則延期するが、コンクリート強度等安全性に課題がある学校は優先する。

(3) 教育環境向上を図るリニューアル工事の実施

- ・現在の計画では、原則、学校統合と同時期に統合校を建替える計画となっていますが、児童・生徒数が予想を上回り減少する中、統合時期と建替え時期が必ずしも一致しない場合があります。また施設整備費が高騰する中、すべての統合校の建替えを短期間で行うことが難しくなっています。
- ・そこで、新たな整備手法として、建物の機能や性能を引き上げ、教育環境を向上させるリニューアル工事を導入します。
- ・導入を検討する基本的な考え方としては、着工時期に概ね築 60 年以上の建物については建替え、築 60 年未満の場合は、老朽化調査の結果によりリニューアル工事を実施することとします。
- ・リニューアル工事をおこなった場合は工事後 20 年間建物を使用することとします。工事の施工期間は 2 ～ 3 か年程度とし、工事費は 30 億円程度とします。

＜リニューアル工事の内容＞

・リニューアル工事は、外壁や内装の改修、ライフラインの更新と併せて、既存校舎をリノベーションし、新しい時代の学びを実現する学習・生活空間を整備することにより、学習環境の向上と老朽化対策を一体で推進していきます。

＜リニューアル工事で求める機能の想定＞

- 新たな教育環境をつくるために、協働的な学習がしやすい部屋の整備や、I C Tを活用できる画像の投影が可能なホワイトボードの設置、内装の木質化、収納スペースの改修
- 教職員がより効果的・効率的に授業の準備や児童・生徒とのコミュニケーションが図れる空間の整備

（４）財政支出の平準化

・現計画の第２期では、事業期間８年間で、９校の建替え、１校の増築、１校の改修を実施する予定でしたが、計画の一部修正後は、事業期間１３年間で、１０校の建替え、２校のリニューアル工事を実施することに変更しています。また施設整備工事の着工は、原則毎年度１校とすることと、建替えとリニューアル工事を組み合わせることで財政支出の平準化を図ります。

（５）計画名称の変更

・推進計画では、学校を「市民生活の拠点づくり」としていくことを理念として掲げています。学校を、学校教育の場であると同時に、身近な避難施設としてはもちろん、地域の方々が日常的に利用できる「地域活用型学校」と位置づけ、その実現を目指します。その理念をよりわかりやすく伝えるために、計画名称を変更します。

＜新たな計画名称＞

町田市新たな学校づくり推進計画

～子どもも大人も、ともに学び、ともに育つ学び舎づくり（「地域活用型学校」の実現に向けて）～

＜表 3＞ 学校統合と建替え等の時期（変更後）

小学校の統合・建替え等の時期

期	項番	項番(旧)	学校名 (候補地名)	学校 候補地	基本計画検討着手 目標年度	新校舎使用開始 目標年度	(参考) 想定統合年度
第2期	6	10	南第三 南第四	○	2026	2034	2034
	7	6	小山田 小山田南	○	2026	2035	2035
	8	11	町田第六 高ヶ坂 南大谷	○	2027	2035	2031 第3期に統合
	9	12	町田第四	-	2028	2036	-
	10	9	山崎 七国山 山崎中学校用地	○	2030	2035	2035
	11	18	成瀬台 成瀬中央	○	2031	2039	2035
	12	20	相原 小中一貫ゆくのき学園（大戸）	○	2032	2041	2037
2033年度以降に基本計画検討着手							
第3期	13	19	藤の台 金井 金井スポーツ広場	○			
	14	13	町田第五	-			
	15	16	忠生第三 木曽境川	○			
	16	15	つくし野 南つくし野	○			
	17	7	忠生 函師	○			
	18	14	鶴川第一 大蔵	○			

中学校の統合・建替え等の時期

期	項番	項番(旧)	学校名 (候補地名)	学校 候補地	基本計画検討着手 目標年度	新校舎使用開始 目標年度	(参考) 想定統合年度
第2期	1	1	薬師 金井	○	2025	2031	2028
	2	2	町田第三 山崎 旧本町田小学校用地	○	2026	2033	2033
	3	4	鶴川第二 真光寺	○	2030	2038	2034
	4	-	成瀬台	-	2031	2039	-
	5	7	堺 小中一貫ゆくのき学園（武蔵岡）	○	2032	2040	2037
2033年度以降に基本計画検討着手							
第3期	6	-	町田第二	-			
	7	6	忠生 小山田	○			

※「第3期」は、検討着手時期が近づいてきた段階で、改めて社会環境の変化を踏まえた実現可能性を検討するため、詳細な時期は示していません。

※赤字の箇所が変更点です。

<表 4> 学校統合及び建替えの順序（変更前）

小学校の統合・建替え等の時期

期	項番	学校名 (候補地名)	学校 候補地	基本計画検討着手 目標年度	新校舎使用開始 目標年度	(参考) 想定統合年度
第2期 小山田地区等	6	小山田 小山田南	○	2024	2031	2031
	7	忠生 山崎（一部） 図師	○	2025	-	2030
	8	町田第二	-	2025	2032	-
	9	山崎（一部） 七国山	○	2027	2033	2030
	10	南第三 南第四	○	2027	2033	2033
	11	町田第六 高ヶ坂 南大谷	○	2027	2034	2031 2036
	12	町田第四	-	2027	2034	-
	13	町田第五	-	2028	2035	-
	14	鶴川第一 大蔵	○	2030	-	2032
	15	つくし野 南つくし野	○	2030	2036	2036
第3期 鶴川地区等	16	忠生第三 木曽境川	○	2030	2037	2034
	17	町田第一	-	2031	2038	-
	18	成瀬台 成瀬中央	○	2033	2039	2036
	19	藤の台 金井 金井スポーツ広場	○	2033	2039	2039
	20	相原	○	2040年度までに検討		
		小中一貫ゆくのき学園（大戸）				

中学校の統合・建替え等の時期

期	項番	学校名 (候補地名)	学校 候補地	基本計画検討着手 目標年度	新校舎使用開始 目標年度	(参考) 想定統合年度
第2期 小山田地区等	1	薬師 金井	○	2024	2030	2027
	2	町田第三 山崎 本町田小学校用地	○	2025	2031	2031
	3	南成瀬	-	2025	2031	-
第3期 鶴川地区等	4	鶴川第二 真光寺	○	2030	2036	2036
	5	南	-	2031	2037	-
	6	忠生 小山田	○	2033	2040	2037
	7	堺	○	2040年度までに検討		
		小中一貫ゆくのき学園（武蔵岡）				